

富山県内企業と副業・兼業人材の交流会事業業務仕様書

1 事業名

富山県内企業と副業・兼業人材の交流会

2 事業目的

富山県内企業（以下「県内企業」という。）が自社の抱える経営課題を解決する際の一助となるよう、副業・兼業を含む多様な形態で首都圏等の高度な専門スキルを持つプロフェッショナル人材の活用を推進する必要がある。

しかし、県内企業では、副業・兼業人材の利用経験がない、もしくは利用経験はあるがうまく活用できない企業が多く、そのような企業の支援が必要である。

このため、県内企業と首都圏等の企業で本業を有し副業・兼業を希望する中核人材（以下「副業・兼業人材」という。）とのマッチングの促進を図る交流会を開催する。

3 事業成果目標

- ・ 副業・兼業人材の利用経験がない県内企業が副業・兼業人材の活用を考える場になったと感じられること。
- ・ 副業・兼業人材の利用経験はあるが、活用方法に悩む県内企業が、今後の副業・兼業人材の活用に参考になったと感じられること。
- ・ 副業・兼業人材との意見交換会に参加した県内企業が自社の抱える経営課題の解決が図られたと感じられること。

※交流会実施後に参加者アンケートを実施し、交流会に参加した県内企業の満足度を測定する。

4 委託事業内容

自社の抱える経営課題を解決したい県内企業と、副業・兼業人材とのマッチングの促進を図る交流会を開催する。

（1）交流会の開催

① 事業概要

【開催回数】

3の目標を達成するために受託者が必要と考える回数。

ただし、少なくとも3回は開催すること。

【開催時期】

参加する県内企業及び副業・兼業人材にとって最適な時期とする。

（例）1回目：令和7年8月、2回目：令和7年11月、3回目：令和8年2月

【所要時間及び開始時刻】

参加する県内企業及び副業・兼業人材にとって最適な所要時間及び開始時刻とする。

（例）所要時間：2時間程度、開始時刻：午後5時以降

【開催方法】

参加する県内企業及び副業・兼業人材にとって最適な開催方法とする。

なお、開催方法は、富山県商工労働部多様な人材活躍推進室人材確保推進課（以下「県」という。）及び富山県人材活躍推進センター（以下「委託者」という。）と協議のうえ決定する。

【構成】

交流会は2部構成とする。

○1部（事例紹介）

- ・ 対象は、2部に参加する県内企業（以下「参加県内企業」という。）及び副業・兼業人材の活用を検討している県内企業（2部の参加県内企業とは別に1部のみを視聴することができる県内企業。以下「検討県内企業」という。）とする。
- ・ 内容は、これまでに開催した副業・兼業人材マッチング交流会に参加した県内企業1社から、副業・兼業人材を活用した体験談（活用した副業・兼業人材の詳細や今後の活用予定についてなど）を発表してもらう。

○2部（参加県内企業と副業・兼業人材の意見交換会）

- ・ 対象は、参加県内企業（各回8社程度）及び事前選考した副業・兼業人材（各回40名程度）とする。
- ・ 内容は、参加県内企業と事前選考した副業・兼業人材との意見交換の場とする。なお、事前に参加県内企業から副業・兼業人材に対する質問事項等及び副業・兼業人材から参加県内企業に対する質問事項等を聴取しておくなど、交流会で具体的な話ができるように工夫する。

【参加者数】

- ・ 参加県内企業：25社程度（各回8社程度）
- ・ 検討県内企業：75社程度（各回25社程度）
※参加県内企業、検討県内企業の確保は県及び委託者が行うものとする。
- ・ 副業・兼業人材：参加県内企業毎に5名程度（延べ125名程度）

② 企画・運営

ア 全体

- a 交流会の全体企画、運営及び管理を行う。
- b 交流会開催に必要な準備、手配等の業務を行う。
- c 司会・講師の手配、議事概要の作成を行う。
- d 参加県内企業及び副業・兼業人材に対する案内状等の作成・送付、事前連絡調整等を行う。
- e 会場、装飾、必要となる備品（プロジェクター、立札等）等の手配を行う。
- f 特設ホームページを作成し、イベント情報等の発信や副業・兼業人材の参加応募受付を行う。
- g 参加県内企業ごとに交流の場を設置及びファシリテーターを配置し、交流

の場の司会・進行をする。

イ 副業・兼業人材の募集及び参加県内企業による事前選考の支援

a 交流会に参加する副業・兼業人材の候補者を確保する。

b 交流会の開催前に参加県内企業が行う副業・兼業人材に対する事前選考を支援する。

ウ 参加企業の経営課題・人材要件の明確化及び特設ホームページへの掲載

a 参加県内企業（県及び委託者が募集）に対し、委託者と連携して個別ヒアリング等を行い、参加県内企業の経営課題を整理し、求める人材の要件を明確にする。

b aで明確にした要件を開催前に特設ホームページに掲載し、副業・兼業人材の参加を募る。

なお、掲載内容は、県及び委託者と事前協議する。

エ 参加者アンケートの集計及び効果測定の実施

各回終了後、速やかに全参加者（参加県内企業、副業・兼業人材）にアンケート調査を実施し、1か月以内にアンケート調査の集計及び効果測定・分析結果を委託者に報告する。

なお、調査項目や手法及び効果測定・分析は、事前に県及び委託者と協議する。

オ 不測の事態に備えた対応

交流会開催時に不測の事態（システムトラブルなど）が発生し、開催の継続が困難となった場合等に備え、事前に対応を準備しておく。

（２）交流会の広告

① マスメディアや複数の人材紹介事業者等と連携し、副業・兼業人材に対し、県内企業において副業・兼業で活躍する魅力をアピールする広告を行う。

② 県内企業の参加募集のための広告媒体を作成する。

③ 各回終了後、広告媒体ごとに実際の参加応募者数等の効果測定・分析※を行う。

※ 効果測定・分析内容は、事前に県及び委託者と協議する。

④ その他、交流会のプロモーションに有効な広告を県及び委託者と協議のうえ行う。

５ 事業報告書

事業完了後、下記事項について事業報告書を作成し（紙媒体２部、電子媒体）、６の履行期限までに、委託者へ提出する。

（１）交流会の開催

・事業の概要

・交流会の開催状況（写真画像を含む）

・事業の効果測定結果・分析

・その他必要な事項は、委託者と受託者がその都度協議し決定する。

（２）交流会の広告

・広告掲載した媒体情報

- ・ 広告した年月日及び交流会の開催状況（写真画像を含む）等
- ・ 事業の効果測定結果・分析
- ・ その他必要な事項は、委託者と受託者がその都度協議し決定する。

6 履行期限

令和8年3月27日（金）まで

7 その他

- （1）交流会に参加した県内企業が副業・兼業人材とマッチングした場合、富山県副業・兼業人材活用促進事業費補助金の活用を勧奨する。
- （2）本事業に関する事項は、機密を厳守し、他に漏らしたり、利用したりしてはならない。
- （3）本事業で取扱う個人情報の管理は、別記「個人情報取扱特記事項」に基づき、適切に行う。
- （4）受託者は、著作権、特許権、その他日本国又は外国の法令に基づき保護される第三者の権利の対象となっているものを使用する場合、その使用に関する一切の責任を負わなければならない。
- （5）事業履行の成果から生じた著作権、内容に関する著作権は、第三者から利用許諾を受けて使用するものを除き、富山県に帰属するものとする。
- （6）受託者は事業を履行するにあたり、第三者に損害を与えたときは、その損害の賠償を行うものとする。
- （7）受託内容に疑義が生じた場合は、その都度委託者と協議の上、その指示に従って進める。
- （8）本仕様書はプロポーザル用であり、委託者とは内容を別途協議の上、契約を締結する。
- （9）本事業の窓口は富山県プロフェッショナル人材戦略本部（富山県人材活躍推進センター内）とする。